



2024,02,23

NO. 02

2024年度賃金のベースアップと  
労働条件向上を実現しよう!

## 2024年春闘スタート!すべての仲間が“生活”と“こころ”の豊かさを実感できるJR東日本グループを実現しよう!

厚生労働省発表 毎月統計調査(2023年11月)によると、一人当たりの賃金は物価を考慮した実質で

**前年同月比で3.0%の減少、20ヶ月連続のマイナス!**  
**物価高に賃金上昇が追いつかない状況が続いている!**

岸田首相は企業に対し「力強い賃上げ」を実現するよう呼びかけ「国民に実感してもらう年にする」と表明。JR東日本深澤社長は「今年も昨年並み、あるいはそれ以上、どこまで出せるのかを検討していきたい」との考え方を示しました。基本給が低めに抑えられている私たちにとってまさに生活に直結することであり、経営陣のさじ加減で生活が脅かされたり、将来設計が大きく狂ってしまうことは決して認められません。

昨年2023年の賃金引き上げは「基本給平均5,957円(定額4,000円+所定昇給額の1/4)」  
夏季手当は「基準内賃金の2.5ヶ月+50,000円」、年末手当は「基準内賃金の2.65ヶ月+50,000円」  
今年度は第2四半期決算“黒字”、年末年始輸送が昨年を大きく上回っている!  
コロナ禍におけるバアゼロや昇給係数“2”、低水準の期末手当を捉え返し、“怒り”をもって声をあげよう!

一方、他業種では…

トヨタ労組…年間一時金 月給の7.6ヶ月分(ベースアップについては前年から大幅上積み要求)

本田技研労働組合…ベースアップと定期昇給分を合わせて月20,000円、年間一時金は月給の7.1ヶ月分

マツダ労働組合…ベースアップと定期昇給分を合わせて月16,000円

電機連合…ベースアップは月13,000円以上(定期昇給分を合わせた要求額は月20,000円以上)

航空連合…ベースアップは月10,000円以上(定期昇給分を含めた賃上げ率は5.87%)

…など、大幅な賃上げ要求が当たり前の時代になっている!

経営陣の顔色をうかがい、低額要求で付度する“社友会”には  
私たち労働者のための“賃金引き上げ交渉”はできない!  
施策を担い、奮闘してきたすべての仲間にもっと正当な評価を!ともに声をあげよう!

JR東日本グループで働くすべての仲間が  
働きがい・生きがい・心の豊かさを実感できる環境が必要だ!

水戸地本発